

平成29年度 関東高等学校陸上競技大会 競技注意事項

1. 規則について
本競技会は、2017年度（公財）日本陸上競技連盟競技規則ならびに、本競技会申し合わせ事項によって行う。
2. 競技場について
競技場の競走路及び助走路は全天候型である。スパイクのピンの長さはトラック9mm、フィールド12mm以下とする。また、スパイクピンの直径は4mm以内、数は11本以内とする。（競技規則143条）
3. 練習について
①練習会場は千葉県総合スポーツセンター陸上競技場(本競技場・第2陸上競技場)とし、プログラム記載の「練習日程」通りに開放する。
②練習にあたっては、引率教諭の監督のもと、時間を厳守し競技役員の指示に従って行うこと。
③指定された場所・時間以外での投てき練習は禁止とする。
4. 招集について
①招集は競技日程を確認のうえ、必ず本人が時間厳守で行うこと。
②招集所は第3ゲート外側（200mスタート外側）に設ける。
③招集開始及び完了時刻は競技開始時刻を基準とし、下記の通りとする。

種 目	招 集 開 始 時 刻	招 集 完 了 時 刻
トラック種目	25分前	15分前
走高跳・走幅跳・三段跳	55分前	45分前
棒 高 跳	1時間40分前	1時間30分前
砲丸投・円盤投・やり投	55分前	45分前
ハンマー投	1時間25分前	1時間15分前

- ④混成競技の招集は2日間とも第1種目目は招集所（200mスタート外側）で行う。集合時間はトラック25分前、フィールド55分前とする。2種目目以降については混成競技者控室（本競技場1階）になるので注意すること。2種目目以降の集合時間はトラック20分前、フィールド40分前とする。
- ⑤招集完了時間に遅れた者は、当該競技種目を棄権したものととして処理する。
- ⑥競技者は招集開始時間に招集所で待機し、最終点呼を受ける。その際にナンバーカード、スパイクピンの長さ、靴底の厚さ、商標等の点検を受けること。
- ⑦代理人による最終点呼は認めない。ただし、2種目を同時にかねて出場する競技者は、あらかじめその旨を本人また代理人が招集所競技者係に申し出て、【同時出場届】に必要事項を記入し提出すること。
5. 棄権について
出場種目を棄権する場合には、招集開始時刻までに【棄権届】を招集所競技者係に提出すること。
【棄権届】は招集所で配布する。
6. 入退場について
①招集所から競技者係の誘導により入退場する。
②トラック出場者の衣類は、補助役員が退場口まで搬送する（4×100mRは最終走者のみ）。
③フィールド種目においては競技役員の指示に従い各ゲートから退場する。
7. ナンバーカードについて
①ナンバーカードは主催者が配布した物を使用しそのままの大きさと胸と背に一枚ずつ確実につけること。ただし、跳躍種目に出場する競技者は胸または背に一枚つけるだけでよい。また、リレー競技では、オーダー用紙提出時に配布する学校名入りナンバーカードを胸につけ、背面には個人の正規ナンバーカードをつける。（決勝は予選に配布したものを使用すること）
②トラック競技出場者は、腰ナンバーカードを招集所で受け取り両腰につける。
③4×100mリレーについては、最終走者のみ両腰につける。4×400mリレーについては、第2、3、4走者は両腰につける。
④3000m、5000m、3000mSC、5000m競歩については、招集時に配布する胸背部特別ナンバーカード（腰ナンバー標識含む）を使用する。その際、正規ナンバーカードを持参する。

8. 各競技の抽選・番組編成について（レーン順・試技順）

- ①トラック競技予選の組・走路順、フィールド競技の試技順は主催者が抽選し、プログラムに示す。
- ②トラック競技の準決勝・決勝の組、走路順は主催者が抽選し招集所に掲示する。
- ③混成競技において、トラック種目の組・走路順、フィールド種目の試技順は主催者が抽選し、プログラムに示す。

9. トラック競技について

- ①スタートの合図は英語で行う。混成競技を除き、不正スタートの責任を有する競技者は1回で失格とする。混成競技においては、各レースでの不正スタートの1回目は失格としないが、2回目以降に不正スタートした者は失格とする。
- ②トラック競技の準決勝・決勝進出についてトラック競技においてプラス進出者を決める場合、その最下位で同タイム者がでたときは下記の方法で決定する。100m・200m・400m・800m・100mH・110mH・400mH・4×100mR・4×400mRの同タイム（チーム）については判定写真を拡大し、細部（電気計時1/1000秒）まで読み取り着差の判定をする。それでも判定できない場合は、同タイム者または代理人によって抽選する。抽選対象者は呼び出しの放送後10分以内に指定場所へ集合すること。1500m・3000mSCの同タイム者は次のラウンドに進むことができる。

10. 跳躍競技について

- ①走高跳・棒高跳のバーの上げ方は次の通りである（天候等の条件により変更する場合もある）。

種目	練習	最初の高さ	バーの上げ方			
男子走高跳						以後3cm
女子走高跳						以後3cm
男子棒高跳						以後10cm
女子棒高跳						以後10cm

- ②混成競技のバーの上げ方は次の通りである（現地での協議、天候等の条件により変更する場合もある）。

種目	練習	最初の高さ	バーの上げ方			
八種競技 走高跳						以後3cm
七種競技 走高跳						以後3cm

- ③第1位及び全国大会出場決定のためのバーの上げ下げは走高跳では2cm、棒高跳では5cmとする。
- ④棒高跳競技の出場者は、希望する支柱位置（アップライト）を招集開始時刻までに招集所で【支柱位置（アップライト）移動届】に記入後、提出すること。提出後の変更は棒高跳競技役員に申し出ること。
- ⑤走幅跳・三段跳はAピット（スタンド側）、Bピット（トラック側）で行う。
- ⑥三段跳の踏み切り板は砂場から男子は11m、女子は9mの位置とする。

11. 競技用具について

- ①競技に使用する用器具は、主催者が用意したものを使用する。
- ②個人所有の棒高跳用ポールは競技開始前の検査に合格したものが使用できる。
- ③投てき競技において、競技者所有の投てき物の持ち込みを次の条件のもとに認める。
 - 1, 検査に合格する。
 - 2, 全出場者が公平に競技会で使用できる。
 - 3, 主催者が検査の可否にかかわらず、投てき物を競技終了まで借り上げる。
 - 4, 競技会使用により破損しても主催者の責任は問われない。
 以上の条件を理解した上で持ち込みを希望する学校・選手は、競技開始1時間30分前までに、TIC（競技場正面玄関前）に申し出る。時間外での検査は行わない。返却は【投てき用具預かり証】と引き替えに、各競技終了後同場所で返却する。速やかに受け取ること。
- ④練習会場の投てき用器具は、各自で用意すること。

12. 混成競技について

- ①混成競技の混成競技者控室は、本競技場1階に設置する。
- ②招集は2日間とも第1種目のみ招集所で行う。2種目目からは混成競技者控室で招集を行う。
- ③トラック種目・走路順は、最終種目（男子1500m・女子800m）を除き主催者が抽選し、プログラ

ムに示す。

- ④フィールド競技の試技順は、主催者が抽選し、プログラムに示す。
 - ⑤混成競技の砲丸投・やり投の試技順は、1つのピットで実施するため、北関東1回目→南関東1回目、北関東2回目→南関東2回目の順で行う。
 - ⑥混成競技の最終種目は、それまでの得点の上位から順に特別ナンバーカードを配布するので胸につけること。(女子800mは、第8位までの競技者を2組、第9位以降の競技者を1組とする)
 - ⑦途中棄権する者は、【棄権届】を混成競技審判員に提出すること。
 - ⑧混成競技者控室は競技者以外の立ち入りは認めない。
13. リレー競技について
- ①オーダー用紙は各ラウンドの第1組の招集完了1時間前までに、用意してあるオーダー用紙に記入し、招集所に提出すること。また、決勝においてもメンバー・オーダーの変更の有無に関わらずオーダー用紙に記入し、招集完了1時間前までに提出すること。提出なき場合は棄権とみなす。
 - ②同一チームの競技者は同一のユニフォームを着用する。
14. 計時について
- すべてのトラック競技種目は写真判定(1/1000秒)で行う。
15. 入賞・得点について
- ①各種目の入賞は、第8位までとする。
 - ②各種目の得点は、1位8点、2位7点、3位6点、4位5点、5位4点、6位3点、7位2点、8位1点とする。
 - ③各種目の合計得点により、男女別学校順位を決定する(同点の場合は上位種目の多い方を上位とする)。
16. 表彰について
- ①各種目8位入賞した競技者(チーム)は競技終了後に表彰式を行うので表彰控所に待機していること(表彰式への参加は、各種目6位(走高跳・棒高跳は6位6名。女子棒高跳は4位4名。女子三段跳・ハンマー投は4位)までとする。ただし、競歩競技は4位までとし、混成競技は3位までとする。)
 - ②表彰式への参加のない入賞者はTICで賞状を受け取る。
 - ③学校対校の表彰は、男女8位までを閉会式で表彰する。
17. 全国大会出場権について
- 本大会の各種目6位(走高跳・棒高跳は6位6名。女子棒高跳は4位4名。女子三段跳・ハンマー投は4位)まで、全国大会の出場権を得る。ただし、競歩競技は4位までとし、混成競技は3位までと各地区4位から6位の選手の中から全国上位5位が出場権を得る。
18. 助力について
- 競技規則第144条に従う。なお、スタンドから映像を見せる事は認めるが、映像機器等をスタンドから吊り降ろしたり、競技者に手渡ししての映像確認は認めない。
19. 抗議について
- 競技規則第146条による。ただし、抗議は各都県監督のみが行えるものとする。
20. 競技場の中に商品名のついた衣類・バックを持ち込む場合について
- 競技場内に、下記規定以外の製造会社・ロゴがついた物品を持ち込むことは、規定に抵触するので慎むこと。
- ①上半身の衣類(製造会社名/ロゴ:1カ所:文字高さは縦4cm以内:トータルのロゴの高さ5cm以内:面積40cm²以内)
 - ②ランニング・ベスト・レオタード(製造会社名/ロゴ:1カ所:文字高さは縦4cm以内:トータルのロゴの高さ5cm以内:面積30cm²以内)
 - ③下半身の衣類(製造会社名/ロゴ:1カ所:文字高さは縦4cm以内:トータルのロゴの高さ5cm以内:面積20cm²以内)
 - ④バック(製造会社名/ロゴ:2カ所:面積25cm²以内)
 - ⑤ソックス(製造会社名/ロゴ:1カ所:高さ2.5cm以内:面積5cm²以内:シューズまたは、衣類製造会社名)
 - ⑥帽子・手袋等(製造会社名/ロゴ:1つにつき1カ所:面積6cm²以内)
 - ⑦競技者が競技中に衣類を2枚重ねて着用する(例えばベストの下にTシャツを着用する・ショーツの下にタイツを着用する)場合は、下に着用している衣類が露出していれば、広告その他の表示があってはならない。
21. 練習場について
- 練習場の使用方法・使用時間については練習会場使用日程を参照のこと。尚、開門時間は7:30とする。これ以前に入場しないこと。第2競技場においてフェンスを乗り越えることのないよう注意すること。
22. 応援について
- 応援は必ずスタンドで行い、競技の妨げにならないように注意すること。競技に支障がでるような集団での

連呼等の応援は厳に慎むこと。また、場内で競技者は他の競技者の応援をしてはいけない。
 集団応援は、次のように規制します。

- ①メインスタンドでは、行わない。
- ②フィールドの競技を行っている付近では、行わない。
- ③リレーのバトンゾーン付近では、行わない。
- ④トラック競技においてスタートのコール後は、一切行わない。

24. T I C（総合案内所：正面玄関前）の業務及び提出書類は次のとおりとする。

配布書類及び業務	提出または受付場所	提出または受付時間
ナンバーカード配布	T I C	6月15日（木） 12:00～17:00 6月16日（金）以降 8:30～16:00
棄権届用紙	招集所競技者係	招集開始時刻まで
2種目同時出場届用紙	招集所競技者係	招集開始時刻まで
リレーオーダー用紙	招集所競技者係	招集完了1時間前まで
棒高跳支柱位置移動届	招集所競技者係	招集開始時刻まで
プログラム訂正届用紙	T I C	随時
投てき用具預かり証	T I C	競技開始1時間30分前まで
記録証明書申請書	T I C	随時
遺失物保管	T I C	随時
4位～8位の賞状配布	T I C	記録発表30分後から

25. その他

- ①競技会で発生した事故等については、主催者側で応急手当をするが以後の責任は負わない。
- ②開・閉会式の式次第についてはプログラムに記載する。
- ③更衣室は更衣のみに使用し、他の目的に使用しないこと。
- ④競技者は招集所からスタート地点までは原則として誘導に従い、競技地点へ行くこと。
- ⑤IDカードがない者は本競技場内および第2競技場に立ち入ることはできない。競技者以外の者はトラック・フィールドに絶対に入らないこと。応援は必ずスタンドで行い、集団での連呼なども慎むこと。また、競技者は他の競技者の応援をしてはならない。
- ⑥本競技場においてはコーチエリアを設けるのでその指示に従うこと。
- ⑦競技場内では、指定された場所以外には荷物は置かないこと。
- ⑧競技者は当該競技場所を勝手に離れることはできない（トイレ等で離れる場合には競技役員の指示に従うこと）。
- ⑨競技者は電子機器類（映像装置・オーディオ機器・通信機器・携帯電話等）を競技場内に持ち込むことはできない。
- ⑩競技者は審判役員の指示に従い事故等のないよう留意すること。また、「組」「試技順」を確認し競技進行に協力すること。
- ⑪本競技場において、横断幕・部旗・のぼり旗等を設置する場合は、本競技場のメインスタンド・芝生スタンド共に最上段フェンスのみとし、大会期間中はそのままよい。（ガムテープの使用禁止）
【横断幕・のぼり旗等：設置開始時刻：6月15日（木）9:40抽選、10:00放送の指示に従い設置】
- ⑫各学校テントは指定された場所以外は設置しないこと。（公園内の樹木にロープ等使用禁止）
- ⑬所持品等は、各自・各学校で責任をもって保管し、盗難・紛失等に十分注意をすること。
- ⑭ゴミについては各自で分別処理をして所定の場所（本競技場 100m フィニッシュ外側スロープ下）に捨てることできる。
- ⑮公園利用者に迷惑となる行為は厳に慎むこと。
- ⑯個人情報の取り扱いについて大会参加に際して提供される個人情報は本大会活動に利用するものとし、これ以外の目的で利用することはありません。